

マギル・プログラムに参加して

英語英文学科 研修時 2 年 N.K.

私がこのプログラムに参加した理由は、大きく分けて 3 点あります。一つめは、現地の大学に通うことができる点です。ビジネススクールなどに通うプログラムもありますが、このプログラムではマギル大学というモントリオールの有名大学に通うことができるため、同世代の友達を作ったり、海外での大学生活を体験してみたりすることができます。また、二つめは寮生活であることです。23 日間という長い間、ホームステイでは気疲れしてしまうのではないかと、という不安がありました。ただでさえ不慣れな環境の中で生活する為、リラックスできる時間が欲しいと思い、寮生活であるマギルプログラムを選びました。寮ではご飯も付いている為、食費の出費もほとんどなく、綺麗な施設でとても快適に過ごせました。そして三つめは、アウトティングが充実している、ということです。わざわざ海外に行くのにずっと勉強では勿体無い！というのが最大の理由でした。もちろん現地の大学での授業も大切ですが、実際の景色を見て、空気や文化を感じることで生きた英語を学びたいと強く思っていました。

このマギルプログラムでは、午前中は授業、午後は基本的に現地のモニターによる市内観光、週末は日帰りでオタワに行ったり、トロントやナイアガラの滝、ケベックシティに行くオプションツアーへの参加など、アウトティングも充実していて、現地でしかできないことをたくさん経験できます。勉強もしたいけど海外に行くからにはしっかり観光もしたいという方にオススメのプログラムです。また、マギルプログラムの特徴であるモニター制度ですが、寮と一緒に生活するレジデンスモニターは寮生活や週末の旅行もすべてサポートしてくれるので、とても心強いです。同世代の方で話やすく親切なので、不安なことがあっても大丈夫です。中には何度もモニターを経験している人もいて、慣れているため、英語が苦手な人も安心です。

移民の国カナダでは、いろんな国の人がいて当たり前。私たちが街を歩いても、お店に入っても外国人扱いされることはありません。それがとても心地よく、その社会に受け入れられている、という感覚を味わえます。だからこそ自分から現地の人に話しかけたり、店員さんとお話ししたりするなど、プログラム参加前とは行動力がまるで変わりました。そして、参加前には海外に住むことに抵抗があった私ですが、23 日間カナダで生活した結果、海外に住んでみたい、海外で仕事をしてみたい、と思うようになりました。初めは何もかも日本の方が使いやすく、安心で安全、と思っていましたが、すぐに慣れました。挑戦せずに無理だと決めつけるのではなく、実際行動してみれば視野は広がるということを強く実感しました。

これからマギルプログラムに参加しようと思っている方にはちょっとだけ勇気を出して、今いる場所から出てみて欲しいと思います。23 日間といえど、遠く離れた、日本語が通じない土地で生活するのは誰にとっても勇気がいることです。一人で行くのは怖いけど、大学のプログラムならサポートも安心です。視野を広げ、成長できる最高の夏にしてください。

※ オプションツアーの内容は年によって変更することがあります。（国際センター）



(↑) ナイアガラの滝クルーズ



(↑) オタワの国会議事堂前